

# KARUIZAWA ROTARY CLUB



2023-2024 年 RI テーマ

例会日 毎週月曜日 12時30分～13時30分

例会場 軽井沢プリンスホテル ウエスト

事務局 〒389-0112 軽井沢町中軽井沢9-3 軽井沢町商工会館内

TEL 0267-46-4970 FAX 0267-46-5445

RI 会長 ゴードン R. マッキナリー RI2600 地区ガバナー 折井正明

東信第一グループガバナー補佐 羽毛田匡

会長 小野克永 幹事 佐藤学 クラブ会報委員長 中沢雅子

E-mail [k-rotary@jfbn.net](mailto:k-rotary@jfbn.net) ホームページ [www.karuizawarotaryclub.com](http://www.karuizawarotaryclub.com)



CREATE HOPE  
in the WORLD

## 第2655例会 2024. 2. 19



12:30 点鐘 会長 小野克永君 司会進行 副幹事 佐藤敏明君  
ロータリーソング「手に手つないで」 ソングリーダー 干川慎一郎君



### 《会長あいさつ》 会長 小野克永君

「ロータリーにおける社会奉仕の意義」 2回目



社会奉仕として公衆トイレの設置運動を発案し、それを実現させました。ところが、この定款(3)「シカゴ市の利益を推進し、その市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること」を作ったのをきっかけにして、シカゴ・ロータリークラブの中で大騒動が起きることになりました。つまり、従来の多数派である「親睦派」と新しい少数派の「改革派」との争いです。その状況を「This Rotarian Age」から一部改変して引用します。「ロータリーの進歩は全体としてはゆっくりと秩序正しく行われたのであった。しかしその発展の歴史には、ロータリーの目的と理想との上に一大拡張が行われた時期が含まれている。他の革命の場合と同様に、幻滅、覚醒、焦燥、希望、杞憂、自暴自棄、乱闘、傷心の時代を経過しました。もしロータリーにこの忘れることが出来ない改革の時期がなかったならば、生誕日のお祝いは無意味なものになってしまったであろう」と書いています。そして、「改革の足音は1906年の後半ごろから聞こえ始め、1907年に入ってその響きはようやく高く、1913年まで、約7年間も騒擾は続いた。この騒ぎを経験することによって、シカゴ市の中で寄り集まってできた仲良しクラブから脱皮して、国際的範囲にまで拡大した壮大な奉仕団体に発展したのである。その主な柱となったのは、この改革をしようという信念であり、この信念がなかったならば、ロータリーははかない烏合の衆に終わったことであろう」と書いています。つまり、初期の仲良しクラブを否定して、超我の奉仕の哲学を持ったロータリーが確立されるためには約7年間にも及ぶ革命ともいべき大騒動を経験する必要があったのです。この大騒ぎの始まりの頃の1907年にはポール・ハリスは自ら立候補してシカゴクラブの3代目の会長になっており、その時のハリスの抱負は3つありました。第1は、シカ

ゴクラブをもっと大きくすること、第2は、この運動を他都市にも広げること、第3は、クラブの目標の一つとして、社会奉仕を強化してゆくことでした。

1908年1月には、すでに100名強に達していたシカゴクラブに、2人の新会員が加わりました。アーサー・フレデリック・シェルドンとチェスリー・R・ペリーの2人で、2人ともこの改革運動にその力を貸すように運命づけられていた人達でした。当時、ポール・ハリスは社会奉仕の重要性は当然理解していましたが、利己と利他の調和をどのような理論で説明するかに迷っていました。一方、シェルドンは哲学的思考能力に優れており、1908年に「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」という標語を考案し、1911年の第2回全米ロータリー連合会のポートランド大会で大会宣言に加えられました。さらに、この大会でもう一つの重要な標語 Service above Self (超我の奉仕、サービス第一、自己第二) が提唱されています。このように、シェルドンの思想は、ビジネスの世界に限定されてはいるけれども、利己と利他の調和を図ることに見事に成功してロータリーの奉仕の理念の構築に大きく貢献し、多くの実業家の高い支持を受けて、現在でも奉仕の第2項目に「職業奉仕」として掲げられています。

**\*次回に続く**

**《幹事報告》** 会長エレクト 今井亮君

★ガバナー折井正明様、松商学園高等学校インターアクトクラブ大会実行委員長 喜多実日子様より 「第31回インターアクトクラブ地区大会」のお知らせ  
6月9日(日) 於；松本大学

★ガバナー折井正明様より 臨時会長会開催について 3月9日(土) 9:00～オンライン開催

★地区デジタル化推進委員長 合原亮一様より「デジタル化オンライン・セミナー」開催について

★2600地区2023年度米山奨学生終了式のご案内 3月16日(土) 於；松本アルピコプラザホテル

★地区委員へ「次期地区チーム研修セミナー」のご案内3月2日(土) 於；佐久平交流センター

★通信物=①ハイライトよねやま287号 ②第30回インターアクト地区大会報告書

★恵送物=小諸RC創立60周年記念誌



**《小野克永会長より》**

来月グアムに行きますので、皆様にご報告いたします。コロナの時グアム交流50周年という事で、記念にグアムRCへお渡ししたいという事で作ったものですが、お渡しできませんでした。今回持って行って頂きますので皆様にご報告します。



**《出席委員会》** 委員長 小崎陽一郎君

	会員数	本日出席	メイク	合計	出席率	訂正出席率
2月19日	36	26	1	27	72.22%	75.00%

事前メイク1

**ニコニコBOX報告**

金澤明美君

★佐藤敏明君、小林俊二君、大工原巧君、柳沢洋一君、金澤明美君  
遠藤孝君、川嶋光慈君、小崎陽一郎君、佐藤一郎君  
上田直人君、大雲芳樹君、袖山卓也君、横山繫君  
中沢雅子君、長岡秀秋君、佐藤好雄君、古越道夫君  
丸山哲君、福井英子君、秋山貴史君、干川慎一郎君  
佐藤光紀君

★松山、リビエラで優秀おめでとう…尾沼好博君 ★IM行ってきました…今井亮君



《 会員卓話 》 プログラム委員長 上田直人君  
— 近況報告等 —



袖山卓也君  
今井亮君



大雲芳樹君  
佐藤光紀君



《四つのテスト斉唱》

点鐘